

口之津中学校 学校たより

心広く  
心高く校訓  
創造・自律・根性  
校長 大嶋博之

いざ!

中学校  
総合体育大会!

部活動に入部している生徒にとつて、中学校総合体育大会は、目標に掲げてきた勝負のステージです。そのうち、本市の球技・武道大会が、六月九日～十日、市内各所で開催されます。

女子卓球 ……口之津体育館

女子バレーボール……布津中体育館

男子ソフトテニス……有家総合運動公園

軟式野球 ……有家総合運動公園、有家中

(対戦表は、本校ホームページに掲載しています)

また、陸上競技は、来る六月十八日(火)島原市宮陸上競技場で行われます。

本番直前となった今、試合へ向けてのアドバイスとして、次の言葉を送ります。

敵は相手にあらず、己にあり

今できる最高の「備え」をもって勝負に挑んでほしいと願っています。保護者や地域の方々、応援よろしく願います。

## 生徒会活動の目的

先日、生徒達が生徒総会を開きました。この「生徒総会」も学校の教育活動の一つとして行いますが、このような自治活動に関連して抱えている課題は次の三つです。

- (1) 若者の政治やよりよい社会づくりへの関心が薄れ、選挙離れが危惧されている。
- (2) 変化の激しい社会の中にあつて、次代を担う人材の育成が求められている。
- (3) 実際の生活(学校での共同生活等)において課題を見出し、改善への手立てを組織的に行うという手段の理解と実行力の育成が求められている。

このような中で、昨今特に育成すべきと言われている力が**意見を表明する力**です。この総会でも「要望」として頭髪の上がりがありました。これは「表明された意見」ですので、許可・不許可の二者択一ではなく本質を求めて大切に扱い、彼らと意見を交わしながら、頭髪のきまりに掲げている「**流行に追われることなく端正なもの**」という言葉に着目して、ならば「**端正**」とは**なんぞや**という「問い」の答えを生徒といっしょに探していきたいと思えます。そしてこのこと他に「新しい活動のアイデア」が少なかった(こちらはもっと重大)ことを問題視してこれからの取組を進めていかなければと考えています。



《コラム 港町ブルース》

## 「天皇陛下もツーブロック?」

生徒総会でツーブロック(ヘアースタイルの一つ)のことが話題になったので、ネット検索で次の言葉を入力してみました。

「ツーブロック、校則」



そして検索のモードを「画像」にしたところ、なんと天皇陛下が(一)映し出されていました。その記事には天皇陛下の御意見もありました。

「いろいろ試行錯誤をしたけれども、やはり御挨拶をしたりする時に失礼がないように整えているんです。」

「相手に失礼がないように」という心遣いと「流行ってるから自分も」というような軽率さとは、分けて考えたいと思うのですが、皆さんどのようにお考えになりますか?

## 《 主な行事予定 》

## 《令和6年度 6月》

- 4日(火) 中総体激励会  
卒業アルバム用写真撮影  
(吹奏楽部は5日撮影)
- 7日(金) 歯科検診
- 9日(日) 市中総体球技・武道大会  
(ソフトテニス部は10日まで)
- 11日(火) 振替休日
- 14日(金) 白浜海岸清掃
- 18日(火) 市中総体陸上競技大会
- 21日(金) テスト前部活動休み~27日
- 24日(月) 授業参観、学年育友会
- 25日(火) 長崎っ子の心を見つめる  
教育週間~28日
- 26日(水) 期末テスト~28日

《心に響いた言葉》 「校長先生のお考えを聞かせてください。」生徒の頭髪に関する私の意見を聞きに、校長室のドアをノックして入ってきた生徒会本部役員の言葉から。頭髪以外にもいろんな意見を交換し合って有意義な時間になりました。



シリーズ「学校教育の充実」

第二期南島原市教育振興基本計画から

第二期『キャリア教育』

キャリア教育は本校教育の大黒柱です。このことについて、文部科学省の資料には、次のように表されています。

○人が生涯の中で様々な役割を果たす過程で、自らの役割の価値や自分との関係を見いだしていく連なりや積み重ねが「キャリア」であるとされています。

○一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育が「キャリア教育」です。

そして、本市の教育振興基本計画には、次のように記されています。

児童生徒が明確な目的意識を持って主体的に自己の進路を選択できる能力を身に付けられるよう、発達の段階に応じたキャリア教育を推進します。

変化が激しい社会では大人(親や教師)が行く道を指し示すのは難しくなっている。生徒が自分で選択していかねばなりません。その選択を行うための知識や能力、経験、判断力、選んだことに対する責任感などを育てたいと考えています。

〈そこで、中学校(本校)では〉

さて、一言で「キャリア」と言っても、それは「進路を切り拓く上で必要なもの・役立つもの」の全てです。例えば「あいさつ」や「返事」もそうですし(これを求める会社の社長さんは多い)、検定の合格証や大会の賞状が必要な進路を選ぶ生徒もいるでしょう。この視点から入試の合格は、明確な「キャリア」です。その他、人との出会いや目標設定力、スケジュール管理能力、コミュニケーション力、発信力、人と協力する力など、様々なものがあります。それらを獲得する力をつけるのがキャリア教育です。本校では、左記のことに取り組んでいます。

(紙面の都合で項目だけ記載します)

- 「キャリア・マネジメントシート」
  - 「キャリア・ポートフォリオ」
  - 「フォーサイト(スケジュール帳)」
  - 「合同高校説明会(一・二年生対象)」
  - 「多様な先人との出会い(講演会)」
  - 「校長面談(進路構想プレゼン)」
  - 「進路情報(高校・大学等)展示」
  - 「各種検定試験(英語・漢字など)」
  - 「ふるさと教育」
  - 「職場体験」
  - 「生徒会活動」
  - 「タブレット端末の活用」
- これらの取組で「今の学びが未来につながる」ようにしたいと考えています。



ふるさとの文化・歴史・人物——口之津中教育の視点から

「九年母」

愛野展望台近くのカステラランドに立ち寄った時、売店で「九年母マーメイド」なる商品を見つけました。隣には「九年母と島原の乱」と表題がつけられた資料がありました。読んでみると「口之津」の文字があるじゃないですか！



南島原市HPから

九年母は、一揆勢の総大将天草四郎が、幕府軍にとらわれていた甥の小平に、お土産として九年母を渡したという記述があります。一七〇七年の「島原領内村明細帳」にも口之津の特産物という記録があります。

九年母を継承する会(会長 原田建志 資料から)

そこで、さっそく買って帰りましたので、我が家の人気メニュー『手羽元のマーメイド炒め』をして食べようと思います！



【お知らせ・体調管理について】

暑さが増してきましたが、コロナ感染症も続いて流行しています。熱中症の予防に加え、コロナやインフルエンザの蔓延防止など、早め早めの判断と生活リズムを整えて睡眠時間や栄養をしっかりとることなど、体調管理に御留意くださいますようお願いいたします。